

I 平成28年度事業報告

第1 事業の概要

平成28年度は、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、これまで以上に外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援、情報収集・提供及び調査などの事業を実施した。

多文化理解推進事業では、交流サロン、姉妹都市との青少年交流、語学講座、各種イベントへの参加等を通じて多文化共生社会の推進を図る事業を実施した。

外国人市民支援事業では、マンツーマン形式による日本語学習支援、日本語が全く話せない外国人向けにグループ形式の学習支援及び文化庁委託事業の『生活者としての外国人』のための日本語教育事業により各種日本語クラス等のほか、公益財団法人アジア福祉教育財団委託事業として、千葉市内に定住を始めた第三国定住難民（ミャンマー難民）への日本語支援を実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援として、「外国人のための防災教室」や、千葉市と「千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定」の締結に基づく事業等を実施した。

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、文化庁からの受託事業として日本語学習支援ボランティア向けの研修や「やさしい日本語ガイダンス」を実施したほか、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体を支援した。

情報収集・提供及び調査では、フェイスブック等を活用し、大雨や台風時の気象情報をやさしい日本語を中心として提供するなど、情報量や提供頻度の充実を図った。

千葉市からの受託事業として、「国際交流プラザ運営業務」と「通訳ボランティア・スキルアップ講座等業務」を実施したほか、前述した文化庁からの『生活者としての外国人』のための日本語教育事業及び、公益財団法人アジア福祉教育財団からの「定住後の第三国定住難民に対する日本語教室の提供」を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、情報交換などを通じて交流し、国際化への理解を深めることのできる場を多く設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
親子三代夏祭り	8月21日	親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 千葉銀座通り周辺	40人 (13人)
日本語スピーチ大会	10月22日	協会や地域の日本語教室で日本語を学習している外国人11ヶ国、12人（イラン、スリランカ、ガーナ、フィリピン、中国、インド、ペルー、インドネシア、ネパール、ベトナム、カナダ出身）がスピーチをしたほか、交流会を実施し発表者と市民との交流を深めた。 国際交流プラザ	147人 (66人)
文化紹介	6月29日 ～11日	七夕の文化紹介及び飾り付け 日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	66人 (短冊数)

7月1日	世界を知ろう 調べよう (総合的な学習) いろいろな国の文化等の紹介を受けることを通じて、それぞれの国の良さを知るきっかけを作った。 参加者出身地: 3 (インド、インドネシア、ベトナム) 市立平山小学校	61人 (3人)
7月8日	国際交流をしよう 外国の方とふれ合い、互いの文化を知る。 参加者出身地: 4 (アメリカ、韓国、中国、モンゴル)	28人 (4人)
10月14日	参加者出身地: 4 (アメリカ、中国、フィリピン、モンゴル) 市立高洲第二中学校	27人 (4人)
9月21日	外国の方と交流しよう 外国の方と交流して外国語や外国の暮らしを知る。 参加者出身地: 2 (インドネシア、モンゴル) 県立桜が丘特別支援学校	19人 (2人)
10月14日	外国の方と交流しよう (総合的な学習の時間) 英語を運用したり、外国の文化について知り、国際理解教育を深める。 参加者出身地: 5 (インドネシア、中国、ネパール、ペルー、フィリピン) 市立都賀小学校	125人 (6人)
10月20日	総合的な学習の時間「国際理解教育」 イタリア料理 (パスタ) の作り方を教わり、一緒に作ることで、イタリアの食文化への興味関心を高め、自分たちの研究を深め、交流することを通し、自分と国や文化が違う人々と共生していこうとする態度の素地を育てる。 参加者出身地: 1 (イタリア) 市立大木戸小学校	61人 (1人)
10月26日	道徳の授業 (国際理解、国際親善) 身近な食べ物を通して世界の文化や人々にふれ、自分から親しもうとする国際理解・国際親善の第一歩を踏み出せるようにする。 参加者出身地: 2 (アメリカ、インド) 市立本町小学校	130人 (2人)
11月7日	留学生と交流しよう 異文化との交流を通して文化の違いを理解するとともに、お互いの文化を尊重し、共生していくことの大切さを気づかせる。 参加者出身地: 4 (スリランカ、ネパール、フィリピン、ベトナム) 市立幸町小学校	69人 (4人)
12月16日	総合的な学習の時間 国際理解教育 外国人の考えや外国の文化に触れることで、互いに「違い」や「共通点」を知りお互いを尊重する態度を育てる。 参加者出身地: 4 (アメリカ、スリランカ、中国、ロシア) 市立作新小学校	86人 (4人)

	1月16日	韓国文化の紹介とテコンドー体験会 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、千葉市（幕張メッセ）が競技会場である、韓国由来のスポーツの「テコンドー」の紹介及び韓国文化を紹介することで、オリンピック及びパラリンピックと併せて外国由来のスポーツと由来国（韓国）への関心への喚起を図った 市立小中台小学校	178人 (3人)
--	-------	--	--------------

イ 青少年交流（市補助）

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れでは、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるプログラムを組み市民の多文化理解の推進を図った。

交流姉妹都市名	期 間 ・ 内 容 等	参加者
カナダ・ノースバンクーバー市 (47回目)	【派遣】 8月8日～23日 市長表敬訪問、市内見学、自然体験、日本文化の紹介等 〈派遣者研究テーマ〉 (派遣生) 「points of agreement and difference 相似点と相違点」、「ノースバンクーバーの気候について」、「カナダの野生動物保護について」、「マナーの違い」、「カナダの食生活」 (引率者) 「ノースバンクーバー市における多文化主義の実際」	高校生5人 引率者1人
	【受入】 8月9日～23日 市長表敬訪問、市内施設（科学館、千葉都市モノレール車両基地ほか）見学、「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加等	高校生5人 引率者1人
スイス・モントルー市 (19回目)	【派遣】 7月28日～8月15日 市長表敬訪問、建国記念パレード参加、日本文化の紹介等 〈派遣者研究テーマ〉 (派遣生) 「スイスの食と歴史」、「スイス文化の特色」、「スイスの人々の自然との関わりについて」、「永世中立国における生活様式」、「スイスの観光について」 (引率者) 「スイスにおける福祉、老人問題について」	青少年5人 引率者1人
アメリカ・ヒューストン市	受入の予定であったが、現地との日程が折り合わず中止	

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員及び次代を担う青少年を対象に語学サロンを実施した。

講座名	期 間	時間等	講師（協会職員）	受講者
中国語サロン(初級)	6月8日～7月13日	2時間×6日	青島 瞳	12人
中国語サロン(中級)	6月8日～7月13日	2時間×6日	葉 青	10人
	9月29日～11月10日			16人
英語サロン(文化紹介)	7月7日～21日	2時間×3日	ジーナ リベラ	22人
英語サロン(初級)	10月6日～11月17日	2時間×6日		23人
中高生限定英語サロン	12月26日～28日	2時間×3日		19人
英語サロン(中級)	1月25日～3月1日	2時間×6日		25人
ラテン文化交流会	11月29日～12月13日	2時間×3日	タニア ムニョス	10人
韓国文化交流会	2月20日～3月6日	2時間×3日	李 銀淑	8人

エ 多文化共生推進

(7) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施するほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを実施した。

名 称	開催日	場 所	内 容
美浜保健福祉センター支援事業	毎月1回	美浜保健福祉センター	中国人が集住する美浜区保健福祉センターにおける通訳、翻訳業務を行った。
生涯学習指導者基礎研修	4月23日	生涯学習センター	「春からはじめるボランティア！千葉市のボランティア関連施設活用術ーちばぼら4施設合同説明会」に参加し、協会の活動等についてPRを行った。
国際フェスタ CHIBA	5月29日	神田外語大学	「ちば国際コンベンションビューロー」主催のイベントに出展し、PRを行った。
千葉市海外インバウンドツーリズム推進協議会	5月30日 8月5日 12月16日 2月24日	千葉中央コミュニティセンター	千葉市におけるインバウンドツーリズムの総合的効果的な推進を図るために、協議会メンバーとして会議に参加し、通訳ボランティア等の活用につなげた。
市営住宅入居説明会	6月14日 9月30日 12月13日 3月14日	千葉市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での通訳及び生活のルールについてのアドバイスを行った。
多文化共生社会づくり連絡協議会	6月23日	千葉県庁	県内の自治体及び国際交流協会等の参加団体の各取組みについて、情報交換を行った。
ボランティアデータベース「ちばぼら」に係る意見交換会	6月24日	千葉中央コミュニティセンター	ボランティアデータベース「ちばぼら」の機能改善に向けた意見交換を行った。
千葉中央地区ホテル会	7月11日 12月28日	三井ガーデンホテル千葉、京成ホテルミラマーレ	市内宿泊の外国人の動向と千葉市の取組についての会議にオブザーバーとして出席した。
国際交流・協力等ネットワーク会議	7月14日	市文化センター	千葉県及び（公財）ちば国際コンベンションビューローが開催した、関係機関相互の連携を促進するための会議に出席した。
高浜地区保育所職員研修	7月15日 11月17日 2月17日	高浜第一保育所	中国人集住地域での市保育所職員への研修（中国における習慣や文化、保育所で役立つ中国語等の紹介）及び中国人保護者等の交流会を実施した。
生涯現役推進連絡協議会	7月26日	千葉中央コミュニティセンター	高齢者の心身の状況に合わせた就労や地域活動などを紹介し、社会参加を促すための相談窓口やウェブサイトの設置等にかかる検討会議に出席した。
「NPO法人多文化フリースクールちば」第3期生日本語発表会卒業式	8月9日 3月18日	中央区ボランティアセンター	日本での義務教育修了相当年齢の外国人に対する高校入学支援を行っている団体が実施した発表会及び卒業式に出席した。
幕張新都心ホテル会	8月10日	ホテルマンハッタン	市内宿泊の外国人の動向と千葉市の取組についての会議にオブザーバーとして出席した。

都道府県政令指定都市 日本語教育推進会議	8月26日	文化庁	各地における日本語教育の現状及び課題に関する情報の収集・整理・共有 及び意見交換を行った。
文化庁日本語教育大会	8月28日	文化庁	「生活者としての外国人」のための日本語教育テーマ別実践報告を行った。
日本語を母語としない 親と子どもたちのための 進路ガイダンス	10月2日	千葉大学西千葉キャンパス	「日本語を母語としない親と子の進路ガイダンス実行委員会」主催のイベントに協会職員が通訳として協力した。
中央区ふるさとまつり	10月16日	中央公園	生活相談やボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い、当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
外国人留学生による 「日本語弁論大会」	10月16日	敬愛大学	会場において協会活動のPRをし、協会利用を促した。
美浜区の地域保健推進 員研修会	10月24日	美浜区保健福祉センター	美浜区健康課からの依頼により市在住の外国人について、研修を実施した。
千葉県国際交流協会 連絡協議会	11月8日	香取市 佐原町並み交流館	県内の国際交流協会が会し、情報及び意見交換を行った。
生涯学習ボランティア フェア 2016	11月 11～13日	生涯学習センター	ボランティア制度や当協会の活動についてのパネル展示等を行った。
千葉市民活動フェスタ 2016	11月 19・20日	きぼーる	ボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
関東地域国際化協会 連絡協議会	11月29日	千葉県国際交流 センター	関東地域の国際交流協会が会し、情報及び意見交換を行った。
リオオリンピック・パ ラリンピック組織委員 会との意見交換会	12月2日	千葉商工会議所	東京オリンピック・パラリンピックへの千葉商工会議所会員である市内業者の参画への足掛かりとしての会議に商工会議所からの依頼により参加した。
平成28年度異文化理解 講座（海外語学研修発 表会）	12月17日	市立稲毛高校	アメリカ、カナダ、オーストラリアでの研修を受けた中高生の英語による発表会に参加し、協会の多文化共生に係る取組との連携への意見を述べた。
「千葉市多文化共生の まちづくり推進指針 (案)」策定に係る担当 者会議	1月19日	千葉中央コミュニテイ センター	「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」の策定に向けての担当会議に参加し、意見交換等を行った。
ムスリム観光客受け入 れ対応セミナー	1月27日	千葉商工会議所	千葉市が主催したセミナーに参加し、情報交換等を行った。
関弁連管内外国人相談 担当者による懇談会	1月31日	弁護士会会館 (東京都千代田区)	関東弁護士会連合会が主催した会合に参加し、情報及び意見交換を行った。
外国人旅行者向け観光 ボランティアガイド養 成に向けた意向調査	2月17日 ～ 3月5日	—	千葉市観光協会が実施した通訳ボランティアに対するアンケートに協力した。
生涯学習センター学習 相談員専門研修	2月16日	国際交流プラザ	千葉市生涯学習センターが実施した職員研修において協会の活動等を紹介した。
「千葉市多文化共生のま ちづくり推進指針をつ くろう！」ワークショップ	2月18日	国際交流プラザ	「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針(案)」について外国人を含む市民との意見交換を行った。
外国人市民懇談会	2月18日	国際交流プラザ	千葉市国際交流課と協働し、「千葉市多文化共生のまちづくり指針について」をテーマに、意見交換を行った。

千葉県生涯学習情報誌「まなびの森」	3月1日 発行	—	千葉県生涯学習センターが発行する情報誌に日本語交流員（ボランティア）募集の記事を掲載した。
-------------------	------------	---	---

(イ) 職場体験等の受入

生徒、学生や教職員等に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図った。

対 象		受入日	内 容
中学生	市立幕張中学校2年生2人	6月1・2日	国際交流プラザでの事業、ゼロレベル日本語レッスン補助ほか、外国人へのインタビューのレポート作成
	市立稲毛中学校2年生2人	11月9・10日	
大学生	慶應義塾大学3年生1人 (千葉県におけるインターンシップの一環として実施)	8月 17・19・21日	交流サロン(外国人と日本人の交流会・親子三代夏祭り)業務及び相談窓口補助
教員	県立桜が丘特別支援学校教員1人 (異業種体験)	8月3・19日	通訳ボランティア・スキルアップ講座、日本語交流員説明会、交流サロン(外国人と日本人の交流会)業務補助

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

依頼元	翻訳言語	翻訳内容
千葉県及び公的機関等	英語 中国語 韓国語 スペイン語 フィリピン語	スプレー缶と乾電池の出し方について/学校保健調査票運動器等追加検診/市生活ガイドブック/緑区市民課からの手続の手紙等/口腔衛生指導案内/市民便利帳/姉妹都市天津市からの文書/モノレールパンフレット/検診問診票/家族関係証明書/飲食店・ホテル・旅館の外国人対応文/避難所表示対応表/区役所窓口表示/歯科検診票/結核健康診断調査票/就学支援制度資料/千葉県観光ガイド翻訳 他

(エ) やさしい日本語の有効性に係るアンケート調査

平成28年5月から6月にかけて、国際交流プラザ利用の外国出身者100人（25の国と地域）に対し、口頭によるやさしい日本語についてのアンケート調査を実施し、「やさしい日本語ガイダンス」で教材として使用したほか、当協会のホームページやFacebook、協会情報誌「ふれあい88号（2016秋・冬号）」で紹介することにより、その普及を促した。

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

(ア) 国際交流プラザにおいて、ボランティアとのマンツーマン形式等により外国人市民へ日本語学習を実施した。（開始件数：360件）

平成28年8月から従来の方式を一新し、外国人市民の社会参加と自律学習の促進を目指し、併せて、日本人市民の多文化理解の促進を図り、日本語ボランティアを日本語交流員とし、外国人学習者を外国人参加者とし、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、対話形式の日本語活動として事業を進めた。

(イ) ゼロレベル日本語レッスン(自主事業)

期 間	参加者	回数等	講師
5月16日～6月30日	7人	2時間×14回	伊藤 三枝子氏
①8月29日～10月24日	11人	2時間×14回	内野 照子氏
②10月27日～11月17日		2時間×6回	村重 明子氏

①10月31日～12月5日	9人	2時間×10回	協会職員 鈴木 恵美子
②12月8日～1月26日			
①1月19日～2月27日	9人	2時間×12回	
②3月2日～3月30日			

(ウ) 日本語クラス(一部文化庁委託事業にて実施)

名 称	開 催 日	参加者 () 内日本人	回数等	講師
テーマでつながる 日本語クラス「仕事」	6月11日～25日	19人 (11人)	3時間×3回	千葉県男女共同参画課長 平田 美智子氏、 萬浪 絵理氏(千葉県国際 交流協会「日本語コーディネーター」以下、同じ)、 山田 由美子氏
テーマでつながる 日本語クラス「環境」	11月11日～25日	23人 (14人)	3時間×3回	萬浪 絵理氏、 藤平 真由美氏
にほんご会話クラス	6月21日～7月19日	3人	2時間×5回	萬浪 絵理氏、高木 敏子 氏、山田 由美子氏、 藤平 真由美氏
	10月25日～12月6日	6人	2時間×6回	
	1月18日～2月15日	6人	2時間×5回	
初級文法クラス	5月13日～6月10日	6人	2時間×5回	萬浪 絵理氏
日本語初級文法 グループレッスン	7月4日～9月26日	2人	2時間×10回	阿部 悦子氏、阿部 晃也 氏、出浦 和子氏、浦尾 千 佳氏、杉山 良子氏、西山 千鶴氏、持丸 文子氏、 協会職員 鈴木 恵美子
	7月6日～9月14日	5人		
	10月3日～12月12日	3人		
	10月5日～12月14日	2人		
	1月25日～3月29日	4人		

(エ) 多文化理解促進(文化庁委託事業にて実施)

日本語教育の一環として、地域における多文化理解の促進と在留外国人の社会参画を促進するために実施した。

a 多文化理解セミナー

テーマ	場 所	開催日	参加者 () 内日本人	講師等
外国人市民と多言語で学ぶ グローバルシティちばの未来	国際交流プラザ	10月1日	45人 (17人)	武蔵野大学大学院 神吉 宇一氏
外国出身パパママによる絵本の 読み聞かせと子育て交流	子育て支援館	10月28日	25人 (24人)	イタリア、インドネ シア、タイ、バング ラデシュ出身者
どうしてお祈りをするの？ 聞いて話して知るイスラーム	若葉保健福祉 センター	12月10日	32人 (25人)	千葉大学 福田 友子氏

b 防犯パトロール参加キャンペーン

地域の自治会等が主催する防犯パトロールに、神田外語大学と協働により日本語で交流する外国人が一住民として参加し、交流した。

場 所	実施日	参加者 () 内支援者
幕張1丁目日本郷町内会(幕張・幕張本郷地区)	7月16日	3人
幕張1丁目日本郷町内会(幕張・幕張本郷地区)	10月8日	3人(2人)
今井連合町会(今井地区)	10月18日	2人(1人)

C 防災セミナー

防災時や緊急時に役立つミニ知識と体験を防災士会の協力により日本人市民と在住外国人市民が一緒に参加した。(災害時外国人市民支援に再掲)

テーマ	実施日	参加者 () 内支援者
災害時の役立つ知識 救命救急	10月13日午前	20人(8人)
	10月13日午後	17人(6人)

d 多文化協働ネットワーク会議 (平成 28 年 11 月 30 日開催、17 人参加)

外国人市民が地域との関わりの中での社会参加を目指すため、日本語を学習する外国人市民も参加し、警察署、消防署、保育所、市や区の複数の部署など、地域の多文化化と関わりのある関係機関が集まり、各現場での取組や課題について情報を共有した。

(カ) 第三国定住難民(ミャンマー難民)への日本語支援 (アジア福祉教育財団委託事業にて実施)

美浜区高洲地区に定住を始めた第 6 陣難民 6 家族 15 人 (大人 11 人、子ども 4 人) 及び平成 27 年度から定住している第 5 陣に対し、日本語支援を実施した。

実施内容	実施日	実施場所等	参加者	支援者等
ガイダンス	5月7日	千葉県国際交流協会 (国際交流プラザ)	10人	14人
グループによる 日本語学習	5月14日～3月18日	センシティ土曜にほんご学級 (国際交流プラザ)	1人	1人
	5月8日～3月26日	稲浜日本語ボランティア (稲浜公民館)	5人	1人
	5月28日～10月22日	稲毛土曜にほんご学級 (稲毛保健福祉センター)	6人	1人
マンツーマン 形式日本語学習	6月11日～2月18日	千葉県国際交流協会 (国際交流プラザ)	7人	8人
九都県市合同防 災訓練参加	9月4日	稲毛海浜公園(千葉県主会場)	23人	—
意見交換会 (支援者等対象)	9月16日	千葉県国際交流協会 (国際交流プラザ)	—	28人
日本語交流会	2月26日	高洲コミュニティセンター	17人	26人

イ 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用した電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

言語	方法	件数	人数
英語、中国語、韓国語、 スペイン語等	協会窓口、電話、 Eメール等	1,242件 (窓口:643件・三者通話:47件)	1,029人 (窓口:509人・三者通話:47人)

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。通訳が必要な場合、協会職員、ボランティアが対応した。

内 容	回 数	件 数	会 場
日常生活に関する法律相談	年8回 (うち3回は夜間)	15件 (要通訳:7件)	国際交流プラザ相談室

エ 外国人留学生交流員（市補助）

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に事業を実施し、1人あたり奨学金 60,000 円を交付した。

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	中国	千葉大学	インドネシア
敬愛大学	モンゴル	東京情報大学	韓国

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災教室等

名 称	開催日	場 所	参加者等 () 内外国人
中央国際文化学院 入学式後オリエンテーション 防災教室	4月13日	中央国際文化学院	34人(31人)
多文化フリースクールちば 防災教室	4月28日 1月21日	国際交流プラザ	11人(8人) 21人(15人)
千葉市いっせい防災訓練 (千葉市シェイクアウト訓練)	9月1日	国際交流プラザ	19人(8人)
第37回九都県市合同防災訓練 千葉市メイン会場	9月4日	稲毛海浜公園	81人(70人)
千葉中央ツインビル総合消防訓練	9月9日 3月8日	千葉中央ツインビル 中央公園	14人(6人) 15人(8人)
防災セミナー(災害時の役立つ知識) (心肺蘇生・AED)	10月13日 午前 午後	国際交流プラザ	20人(12人) 16人(11人)
千葉モードビジネス専門学校 入学式後オリエンテーション 防災教室	10月14日	千葉モード ビジネス専門学校	12人(12人)
保育士と外国人保護者との交流会における 防災教室	11月17日	高浜第一保育所	28人(24人)
センシティ土曜にほんご学級 防災教室	1月21日	国際交流プラザ 及びきぼーる	47人(28人)

(イ) 「緊急連絡シミュレーション」及び「災害時翻訳シミュレーション訓練」の実施

内 容	実施日	対 象
東北・北海道ブロック内において発生した大規模災害に対し、関東地域の地域国際化協会が相互に協力し、災害地域の外国人に対する支援を円滑に推し進めることができるよう実施した。	9月28日	災害時語学 ボランティアほか

(ウ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結（平成26年6月30日）に基づく事業

日本語による意思疎通に支障のある外国人が、申請書を提出することで千葉市避難行動要支援者名簿に掲載されるにあたり、申請書の作成補助及び一時保管をする。

(エ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結（平成26年8月28日）に基づく事業

協定に基づき、台風7号、9号、10号及び16号発生時や地震発生時(5/16、11/21)に、千葉市発信の災害情報を多言語に翻訳し、協会 Facebook で情報発信をした。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネートを行っている。通訳ボランティア・スキルアップ講座実施により、通訳ボランティア登録者が増となり、当協会広報もできたため、登録者数は伸びた。

(平成 29 年 3 月 31 日現在件数)

内容	登録	斡旋	主な実績
通訳	660	72	セイナヨキ応用化学大学生に対する千葉大学病院紹介、ソフトテニスアジア国際大会、天津市公式訪問団レセプション、中国人留学生への防災啓発講和、外国人入院患者の面談、台湾教育旅行に係る学校見学、インドネシアTVクルーサムライフィルム撮影取材等
災害時語学	236	8	九都県市防災訓練時通訳、多言語翻訳シミュレーション
翻訳	476	87	千葉あそび夏号プラン翻訳、生活情報誌やさしい日本語翻訳、外国人市民アンケート翻訳、千葉おもてなしSHOPガイド表示翻訳、千葉市里山MAP翻訳、千葉市動物公園MAP翻訳、千葉バス停留所翻訳等
ホームステイ	120	33	千葉大学留学生、姉妹都市ノースバンクーバー市との青少年交流事業等
ホームビジット	231	21	千葉大学国際教育センターの依頼によるスウェーデン人留学生、千葉市国際交流プラザ利用者、当協会日本語活動外国人対象ホームビジット交流事業等
文化紹介	200	49	山王公民館 フランス語及び文化講座講師、南部青少年センター「わくわくカレッジ英会話入門」及び「少年教育指導 えいごであそぼ!」講師、平山小学校ほか8校、多文化理解セミナー「絵本読み聞かせ」等
日本語学習支援	639	360	中国、台湾、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、アメリカ、インドネシア、ネパール等
学校派遣	57	0	休止中
国際交流支援	605	66	千葉大学語学ボランティア連携ミーティング、通訳演習支援（英語・フランス語）、日本語スピーチ大会運営ボランティア、在留外国人コミュニティ座談会参加、語学サロン（中国語）会話及び文化紹介支援、やさしい日本語ワークショップアドバイザー等
合計	3,224	696	

イ ボランティア研修

(ア) 日本語交流員研修(一部文化庁委託事業にて実施)

平成28年8月から一新した日本語活動をすすめるため、日本語交流員と外国人参加者が1対1で対話・交流しながら、日常のコミュニケーションや生活に必要な日本語・情報についてともに考え学び、相互理解を深めることができるよう、一部の講座では、実際に外国人を交え日本語活動を進める手法も取り入れて実施した。

講座名	開催日	参加者等 () 内外国人	回数等	講師
新基本講座 (入門)	5月10日～24日	32人	2時間×3回	萬浪 絵理氏
	7月6日～20日	29人		
	12月1日～15日	21人		
	2月18日～3月4日	14人		
対話の達人講座 (実践)	6月2日～16日	7人 (2人)	3時間×3回	萬浪 絵理氏
	11月2日～16日	7人 (2人)		
これは使える 活動素材講座	6月14日・7月7日	9人・7人	2時間×1回	萬浪 絵理氏
	9月6日・11月9日	11人・3人		
	12月3日・1月25日	4人・5人		

どうなってるの 日本語講座	6月15日～29日 1月12日～26日	8人 15人	2時間×3回	萬浪 絵理氏
日本語活動充実講座 (養成)	9月7日～10月26日	7人	3時間×8回	千葉大学 新倉 涼子氏 萬浪 絵理氏 田栗 春菜氏
ファシリテーター研修	12月16日	3人	2時間×1回	萬浪 絵理氏

(イ) 日本語交流員説明会

平成28年8月から一新の日本語活動を進めるにあたり、登録ボランティアに対し説明会を実施した。(実施回数：12回、参加者総数：135人)

開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
6月13日	19人	6月17日	19人	6月25日	13人	7月5日	15人
7月14日	7人	8月3日	22人	8月20日	18人	12月2日	6人
12月14日	3人	1月17日	3人	2月6日	7人	2月25日	3人

(ウ) やさしい日本語ガイダンス

行政機関職員等に対して「やさしい日本語」の有効性についてのガイダンスを開催した。

内容	開催日	参加数() 内外国人	講師
やさしい日本語についての講義と ワークショップ	12月16日	26人(9人)	協会職員 廣田 将克

(エ) 第三国定住難民支援者向け講座

アジア福祉教育財団難民事業本部からの依頼により、支援する難民の背景や来日してからの状況等を支援者と情報を共有することで支援し易くするために、7月15日に開催し、38人が参加した。

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成(市補助)

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

	団体名	事業名	交付額
1	穴川にほんごボランティアサークル	外国人のための日本語指導及び異文化交流	7,300円
2	稲浜日本語ボランティア	外国人のための日本語支援及び異文化交流	137,000円
3	ザンビアの会	アフリカ等の福祉・教育施設など支援事業 2016	16,200円
4	Japan & VietNam Friendship Club	ベトナム国などからの留学生やOB・OGを対象とする、キャリア支援、生活支援や日本語学習への支援活動	24,400円
5	センシティ土曜にほんご学級中央 土曜にほんご学級	[日本語を母語としない子ども達]への支援活動	112,700円
6	千葉市JSL児童・生徒支援の会	外国人市民支援事業	135,400円
7	千葉大学生涯学習友の会けやき 倶楽部国際理解グループ	外国人留学生に対する学習支援「最先端産業 技術現場・見学案内」	20,900円
8	花見川土曜にほんご教室	外国人市民支援事業	54,700円
9	ハングル同好会	ハングル書道・韓国伝統文化展	21,300円
10	幕張エクスパット&ジャパニーズ コネクション	日本を伝え世界を学ぶ：「Hello, World!国際交流ワイワイ」等	18,737円
11	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	60,100円

12	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室開催	43,000円
合 計			651,737円

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の事務局として支援を行った。

内容	開催日	場所	参加団体	来場者
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月12日	きぼーる	23団体	約1,400人

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室に調査票を送付し、3月末時点で19か所(中央区:2、花見川区:3、稲毛区:4、緑区:2、美浜区:8、若葉区:0)の情報を確認した。各団体へ当協会実施の講座等の周知により更に活動を促進するための支援をしつつ、各団体間のネットワーク化を図った。また、希望団体については、当協会のホームページ上に情報を掲載して紹介する等、利用者の利便を図った。

更に、国際交流・協力活動を実施している21団体についても情報収集のため活動調査票配布を行い、希望団体についてはホームページ等に掲載した。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信する。Facebookを活用し、情報の提供頻度・量の充実を図り、特に、台風時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として提供した。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行87~89号	8月、12月、3月 (年3回)	各3,000部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区市民課窓口等、日本語教室等を通して提供した。

内 容	部 数	発 行	配布先等
英語	100部/月	月1回	各区窓口、日本語教室、 市内大学、ホームページへの掲載等
中国語	150部/月		
やさしい日本語	100部/月		

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を配置するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

また、インターネットコーナーにおいてパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提

供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		
情報収集用パソコン		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施した。

施設利用状況 開館日数 293 日

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

	会議室	国際交流ラウンジ					合 計
		日本語学習支援	外国人相談	インターネットコーナー	多目的スペース	小 計	
件数	820	5,445	1,242	13	2,084	8,784	9,604
人数	10,236	12,509	1,029	13	2,084	15,635	25,871

イ 通訳ボランティア・スキルアップ講座等業務

(ア) 通訳ボランティア・スキルアップ講座

千葉市の「国際交流ボランティアリーダーの育成」事業の一環で、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人来客者の受入体制強化のため、通訳ボランティア数の増加とより高度な通訳を行える国際交流ボランティア育成を目指す「通訳ボランティア・スキルアップ講座」として、英語（一般）、フランス語、英語（高校生対象）及び韓国語を開催した。

言語名	開催日	回数等	参加者
英語（一般）	7 月 2 日～8 月 6 日	2 時間×6 回	25 人
フランス語	7 月 2 日～8 月 6 日	2 時間×6 回	19 人
英語（青少年）	7 月 20 日～8 月 17 日	2 時間×5 回	26 人
韓国語	11 月 12 日～12 月 17 日	2 時間×6 回	19 人

(イ) 自主学习グループの結成

通訳ボランティア・スキルアップ受講者の内、任意の参加者から成る自主学习グループ結成支援をした。

自主学习グループの活動は、通訳スキルアップ講座で学んだ通訳スキルアップトレーニング継続と外国語母語話者を交えての実践演習、また千葉市の魅力を伝えるための知識、その他各分野における用語学習など、グループ毎に自主的な活動に取り組んでいる。

平成 27 年度にも 4 グループ結成されており、グループ合同演習として、母語話者を交えた千葉神社での通訳演習の実施、高校生通訳ボランティアへのトレーニングを兼ねた屋外演習の企画など、通訳トレーニングだけではなく、グループ間での情報共有や次世代の通訳ボランティアの育成支援をも図る活動を展開し始めている。

講座言語	参加人数	自主学习グループ活動内容
英語（一般）	20 人	外国人母語話者とのヒアリング、スピーキング練習、諸外国との文化・風習の違いについて、時事問題について、医療や観光などの用語学習、千葉市の魅力を伝える通訳演習など
フランス語	17 人	
韓国語	15 人	
英語（青少年）	14 人	協会企画の通訳演習への参加

(ウ) 平成28年度受講者の通訳ボランティア活動実績

姉妹都市来葉団の歓迎レセプション時通訳、姉妹都市来葉派遣生への日本文化紹介及び市民との交流支援通訳、アジアソフトテニス選手権国際大会時通訳など

(エ) 通訳ボランティア・フォローアップ講座

「通訳ボランティア・スキルアップ講座」を受講した者を主な対象として、更なる通訳スキルの向上と活動に役立つ実用的な知識の習得、併せてボランティア活動への参加意欲向上に資するため、「フォローアップ講座」を実施した。質疑応答時間を設け、インタラクティブな講義の中で個々の課題解決と受講者間での情報共有ができるよう図った。また、受講者へのアンケートも実施し、今後の活動には、どのようなスキルアップ講座が必要か等について意見収集した。

内容	開催日	参加者	講師及び講座内容
通訳ボランティアが知っておきたいルールとマナー ～現役外交官に訊く～	1月28日	48人	外務省国際協力局気候変動課長 石垣 友明 職業通訳とボランティア通訳の違い、通訳の種類、通訳のルールとマナー、通訳を成功させる秘訣、現場で困ったことと対策、心構えと予習、質疑応答など
英語通訳の発音の極意 ～プロから学べ!～	2月4日	46人	現役英語通訳者・英語音声学専門家 笠原 園子 日本人が不得手な発音や誤りやすい発音の矯正、練習方法、母音と子音、日本人特有のアクセントの矯正、文章の核の見つけ方、イントネーションの下降上昇について、質疑応答など

(2) 文化庁から委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実施
ア 運営委員会(国際交流プラザにて開催)

開催日	議題及び検討内容	委員名等
5月31日	1. 事業概要(事業計画・事業内容・事業運営方針)の説明 2. 質疑応答・意見交換	武蔵野大学大学院 神吉 宇一氏 千葉大学 新倉 涼子氏 千葉市老人福祉施設協議会 野口 恭子氏
10月24日	1. 実施済み内容報告及び今後の実施計画説明 2. 質疑応答・意見交換	千葉市中央区地域振興課 檜木 かおり氏 千葉市国際交流協会 日本語コーディネーター 萬浪 絵理氏
2月14日	1. 事業実施報告 2. 事業評価 3. 質疑応答・意見交換	常務理事兼事務局長 鈴木 浩 主任主事 鈴木 恵美子

イ 日本語教育(外国人市民支援事業「日本語学習支援」にて(ア)～(ウ)を実施)

- (ア) テーマでつながる日本語クラス
- (イ) にほんご会話クラス
- (ウ) 初級文法クラス
- (エ) プロジェクト会議

4月18日及び9月13日に日本語コーディネーター、事業サブメンバー6人及び担当による実施事業の企画・内容について意見交換を行った。

ウ 支援者研修(市民活動支援事業「ボランティア研修」にて(ア)～(カ)を実施)

- (ア) 新基本講座
- (イ) 日本語活動充実講座
- (ウ) 対話の達人講座
- (エ) どうなっているの日本語講座

(イ) これは使える活動素材講座

(カ) ファシリテーター研修

エ 多文化理解促進（外国人市民支援事業「日本語学習支援」他にて実施）

多文化理解セミナーの開催、防犯パトロール参加キャンペーン、防災セミナーを実施したほか、2月12日に、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の会場において、事業の成果発表を来場者に対し、実施内容のパネル展示や成果報告書「千葉市に住む外国の人と日本語で交流！」を用いて説明した。

オ 多文化協働ネットワーク会議（外国人市民支援事業「日本語学習支援」にて実施）

11月30日に日本語を学習する外国人市民も参加し、地域の多文化化と関わりのある関係機関から17人が集まり、各現場での取組や課題について情報を共有した。

(3) 公益財団法人アジア福祉教育財団から委託を受けた「千葉市美浜区に定住する第三国定住難民に対する日本語教室の提供」の実施

平成28年5月1日から29年3月31日において、外国人市民支援事業の「日本語学習支援」にて実施した。

第3 賛助会員(平成29年3月31日現在)

会員の高齢化等により前年度に比べ個人会員が減少した。

区分	合計	内訳1(日本人・外国人)		内訳2(一般・学生)		内訳3(金額)	
				一般	学生	2,000円以上/年会費	1,000円/半年会費
個人	451人	日本人	443人	一般	441人	2,000円以上/年会費	441人
				学生	2人	1,000円/半年会費	1人
		外国人	8人	一般	8人	2,000円以上/年会費	1人
						1,000円/半年会費	7人
				学生	0人	1,000円/半年会費	0人
						2,000円以上/年会費	0人
法人・団体	89団体	1法人・団体	10,000円以上/年会費				

平成28年度事業報告の附属明細書

平成28年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書については作成しないこととしている。